

技術環境  
地盤研究センター

# 土壌鑑定で共同出資会社

## 汚染リスクを評価

成する事業協同組合。ガ  
ソリンスタンドやクリ  
ニング店などの小規模汚  
染土壌の浄化技術などを  
開発するために設立し  
た。

事業協同組合の地盤環  
境技術研究センター（一  
川宏慶理事長）が、不動  
産鑑定会社らと共同出資  
して、土壌汚染リスクを  
評価する新会社を設立す  
る見通しとなった。事業  
協同組合による共同出資  
会社への出資は、全国で  
もあまり例がない。土壌  
浄化市場の開拓をめざす  
同センターと、不動産鑑  
定に土壌汚染リスクを反  
映させたい不動産鑑定会

社ら双方のメリットが一  
致した。  
2月下旬から3月上旬  
にも新会社を設立する見  
通しだ。  
新会社は「アースア  
レイザル」で、不動産鑑  
定会社のケイ・アイ不動  
産鑑定、弁護士事務所、  
会計事務所らで構成する  
「不動産評価投資コン  
シアム」と、同センタ  
ーが500万円ずつ出資  
する。汚染土壌の所有者

らから相談などを受け、  
汚染リスクを評価する。  
必要に応じて同センタ  
ーやコンソーシアムの加盟  
企業を紹介・あっせん  
する仕組みだ。  
環境省が今通常国会に  
提出する土壌汚染対策新  
法で潜在市場の顕在化が  
期待されているなか、同  
センターとしては、不動  
産鑑定会社らと連携する  
ことで、実需の拡大を美  
現したい考え。

一方、現在、国土交通  
省が不動産鑑定基準に土  
壌汚染リスクを反映させ  
る方向で検討を進めてい  
る。このため、地質調査  
のノウハウを持たない同  
コンソーシアムにとって  
も、同センターとの連携  
が大きなメリットとな  
る。  
同センターは、全国地  
質調査業協会連合会に加  
盟する地質調査・コンサ  
ルティンク企業60社で構